

令和7年度事業報告書（なんぶ エリア）

1 令和7年度総括（成果、反省等）

1) 令和7年度は、外部との交流事業やボランティア等の受け入れが回復し、事業運営においてはコロナ前の状態に戻ったが、介護職員人財の確保は昨年度同様に継続して厳しい状況は変わらず、そのため今年度も5名のグローバル人財を採用し早期戦力化に努めた。更に人財不足を補い、業務の効率化を進める導入したICTの活用、普及に努めSNSでの情報発信を進めサービスへの利用促進と共に人財確保の一つとして活用した

2) 地域貢献事業の推進

地域公益事業「みんなの居場所あいRIN」不登校児等の学習支援、地域食堂、居場所の提供、各種相談などに加え「涼みどころあいRIN」の看板を出し冷たいお茶を準備、休憩場所としての認識も地域に進んでいる、

2 トピックス（新規事業、重点実施事業等（独自で実施している地域貢献活動含む））

- 1) ショートステイ事業の需要の減少に伴い、16床の特養ショートを9床へ、7床を含め地域密着型特養を米子市以外の方の受け入れを広域的に行えるようユニット型特養へ転換
- 2) 米子市フレイル予防事業（チェック事業・予防教室）を推進、尚徳中学校地区を対象に、米子市と鳥取大学医学部の研究事業（フレイル予防巡回検診）など各事業に職員派遣を行っている。数年来住民とともにフレイル予防に取り組んできたこともあり、介護等認定率は市内で最も低く、モデル地域として予防事業を推進した。
- 3) エリア所属の栄養士5名の業務活性化および多職種連携の強化を目的として、1階厨房横の栄養士室を解体し、特養・老健の各フロアへ介護・医務と併設する形で机を配置。
これにより、日々のレスカンファレンスや日常的な情報共有が迅速化し、現場スタッフとの動線も短縮され食事サービスの向上に寄与している

3 エリア目標の達成度合とその評価(戦略会議の資料等)

- 1) にしおおい幸朋苑において推進メンバーの研修を実施、推進メンバーによるエリア内でのユマニチュード研修を展開、引き続き研修を継続し、ユマニチュードの理念を定着させるための基盤づくりを進めていく。
- 2) 災害（特に水害）や感染症発生時においてもサービスを継続するため、BCP訓練および垂直避難訓練を実施、さらに、実際の地震に伴うエレベーター停止時には、食事運搬方法の工夫を行うなど、実体験を通じて課題の把握と改善点の抽出を行う。
- 3) 特SS:MeLL+family アプリにて家庭と連携、利用前日連絡を電話からメッセージに変更、連絡票からアプリ内回覧に変更、活動新聞配布（68枚）からアプリ内回覧へ変更、お知らせ文書も発信。電話代、折り返しを待つ等時間、印刷代の削減に繋げている

- 4) AI 議事録ソフトを活用したことによる時間外の削減に効果が出ている、特にケアプランセンターは年間 249 時間削減を行えている

4 入所系事業所（デイハウスは登録人数）の稼働率の推移（稼働率：小数点第 1 位）

事業所名	定員(人)	令和 7 年度(%)	令和 6 年度(%)	令和 5 年度(%)
介護老人福祉施設なんぶ幸朋苑	80	98.5	96.2	97.7
ユニット型介護老人福祉施設 なんぶ幸朋苑	24(～R7.5) 31(R7.6～)	93.7	95.0	95.6
介護老人保健施設なんぶ幸朋苑	36	90.9	90.8	91.8
ユニット型介護老人保健施設なんぶ幸朋苑	44	81.9	82.9	84.5
グループホームなるみ	27	99.7	99.4	99.4
ケアハウス	50	96.7	97.5	75.2
デイハウスごせんごく	29	74.8	66.9	74.9
デイハウスながえ	16	42.5	42.5	39.6
デイハウスくずも	25	73.4	79.7	97.3

5 各エリアの取り組み実績

年間行事一覧	<ul style="list-style-type: none"> ○供養会 ○開苑秋祭り ○長寿を祝う集い ○餅つき ○除草作業 ○溝清掃 ○クリーン活動 ○なるみ：開苑祭、奥谷レクリエーション、キッズタウンさくら芋の苗植え芋ほり、奥谷子供神輿、防災避難訓練・水防訓練。 ○特養：花火大会、文化祭、新年会、カラオケ大会 ○老健：クリスマス会 ○ごせんごく・ながえ：開苑式、花回廊外出、東みずほ幼稚園交流会、五千石小学校交流会、ごせんごく秋祭り ○くずも：花回廊外出、キッズタウンさくら交流会、くずも秋祭り、忘年会
BCP 等訓練実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○火災避難訓練 なんぶ（7月25日：日中想定、1月19日：夜間想定） ごせんごく（6月26日：夜間想定、12月25日：日中想定） ながえ（10月26日：日中想定、2月27日：日中想定） くずも（7月25日：夜間想定、1月23日：日中想定） さくら（9月25日：日中想定、2月13日：日中想定） ○水防訓練 なんぶGHなるみ、DSいしい合同（6月24日） ごせんごく・ながえ（3月27日） くずも（6月27日） さくら（尚徳中学校合同 11月27日）

	<p>自然災害、感染症BCPの確認 見直し・更新：なんぶエリア内（10月・3月） 机上訓練：各事業所3月実施</p>
<p>エリア内研修状況</p>	<p>○基礎研修 4月：「エリア新人研修」「エルダー発表会」 5月：「食事」・6月：「排泄」・7月：「身体拘束虐待」 8月：「リスク(服薬事故)」9月：「救急法」・10月：「感染症」 11月：「ノーリフト」・12月：「リスク(骨折)」・1月「看取り」 2月：「認知症」・3月「姿勢・褥瘡」 ○月例研修 5月：「法令遵守・プライバシー」 6月：「食中毒・手洗い・感染症」・7月：「研究発表」 8月：「BCP」9月：「ICT」・10月：「ユマニチュード」 11月：「感染症」・12月：「身体拘束・虐待」 1月「グループ学習(グループディスカッション)」 2月：「健康講座」・3月「接遇」</p>
<p>エリア内会議、委員会活動</p>	<p>○エリア内調整会議 ○衛生委員会 ○職員会議 ○ISO委員会 ○リスク委員会 ○ICT・DX委員会 ○ケアプラン委員会 ○食事検討委員会 ○研修委員会 ○排泄検討委員会 ○地域交流委員会 ○褥瘡予防委員会 ○感染予防対策委員会 ○看護師会○リーダー会 ○生産性向上委員会○チーム会 ○在宅会議 ○ノーリフティング委員会○ケアカンファレンス会議(随時)○ 苦情解決第三者委員会 ○ふれあいの橋の会 ○身体拘束等適正化委員会</p>
<p>委員会活動等の成果・実績・反省</p>	<p>○研修委員会：法定研修運営実施の他、ユマニチュード研修・「グループ学習」としてグループディスカッションの研修を企画運営。 ○看護師会：感染症/褥瘡/薬関連事案を共有。月例・基礎研修担当月に持ち回りで講師を実施。誤薬対策では、発生事案の共有、誤薬防止強化月間(年2回)、虫食いテスト等実施。 今年度誤薬12件(前年比52%減)の結果で、看護師会の目標としていた前年比50%減を達成。感染症BCPは、各部署で机上訓練、シミュレーション訓練を実施。誤薬対策は各自の意識向上を目指した取り組みが必要であり、感染症BCPは事業所に即した取り組み検討が今後も必要。 ○生産性向上委員会：生産性向上推進体制加算の上位加算算定を目指して毎月委員会を開催、各事業所間で共有しながら取り組み</p>

	実施。結果、上位加算を算定出来たのは特養SSのみであったが、引き続きICTの活用等を行いながら、次年度以降も上位加算算定を目指して取り組みを継続していく。
--	---

6 人財状況

外部研修等講師派遣実績	<ul style="list-style-type: none"> ○米子高等学校 介護職員初任者研修講師（廣江恵・池田真大） ○家庭生活支援員養成研修（酒井久美） ○介護の入門的研修（徳岡久美子） ○あいサポート研修（企業等）・小学校3校（徳岡久美子）
外部役職就任状況	<ul style="list-style-type: none"> ○鳥取大学医学部臨床教授：武良恵美子 ○鳥取看護大学臨地実習指導講師：武良恵美子 ○鳥取県西部地区心不全地域連携パス推進委員会役員：武良恵美子 ○西部在宅ケア研究会世話人：武良恵美子 ○日本神経理学療法学会 査読員：原大樹 ○鳥取県理学療法士会 スポーツ支援部 部員：宮崎大地 ○山陰言語聴覚士協会 企画推進部 部長：執行誠二郎 ○山陰言語聴覚士協会 監事：足立朋哉 ○山陰言語聴覚士協会 新人研修部 部長：足立朋哉 ○鳥取県小規模多機能型居宅介護事業所連絡会会長：佐藤裕輔 ○日本パワーステーションケア DCM（JPD）ネットワーク会長：中嶋健児 ○JPD ネットワーク中国四国ブロック代表世話人：中嶋健児 ○鳥取介護福祉士会理事：徳岡久美子 ○日保協鳥取県支部女性部長：永見和泉
外部表彰受賞状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ノーリフティング推進協会 第11回全国大会 優秀演題選出 ○第19回鳥取県福祉研究学会 学会奨励賞 池田真大 ○米子商工会議所 従業員表彰 亀井朋子・武部徹夫・中井昌之 ○鳥取県社会福祉施設経営者協議会会長表彰 大野淑恵・佐藤今日子・門脇有里・前田光江・荒金あおひ ○米子市社会福祉協議会会長表彰 齊藤晃子・大西葉月・池田真大 渡辺真央・金田紀洋・西村澄・篠村伸江・曹金妹・荒井雅宏 ○境港市社会福祉協議会会長表彰 高野正宏

7 地域貢献実績（保育園含む）

実習受け入れ実績 延人数 200人	<ul style="list-style-type: none"> ○鳥取県社協（1名）美作大学（2名）鳥取短期大学（2名） ○YMCA 米子医療福祉専門学校（7名）○松江総合医療専門学校（10名） ○鳥取大学医学部1年生（12名）米子医療センター附属看護学校（12名） ○ワークホーム（1名）湊山中学2年生わくわく職場体
----------------------	--

	<p>験(6名)○米子高校3年介護職員初任者研修(6名述べ12名) ○鳥取看護大学(44名)鳥大保健学科(50名)米子北高(30名)T-HOK(7名)○大阪健康福祉短期大学(1名)日本福祉大学(1名) ○さくら:湊山中学職場体験2名 米子南高校インターンシップ2名</p>
<p>ボランティア受け入れ実績 <u>延人数 1287人</u></p>	<p>○日野高校学生(1名)○YYフルーツ○ハーモニカ・尺八 ○いしい 毎週月曜日軽作業/紙芝居(延べ34名) 支え合いカフェ(いしい)ボランティア○生け花(1名述べ12名) ○音楽活動(2名述べ6名)○傾聴ボランティア(4名) ○くずも 音楽活動(4団体延べ29名) ○支え合いカフェ(石井・永江)ボランティア(延べ240名) ○みんなの居場所あいRIN(居場所・地域食堂・倶楽部活動)ボランティア(約960名) ○さくら:ボランティア体験1名</p>
<p>見学受け入れ実績 <u>実人数 56人</u></p>	<p>日野高校2年生:1名、 障がい者就業・生活支援センターしゅーと6名、 尚徳小学校2年生:4名、6年生:4名、尚徳中学校3年生:6名 さくら:園見学25家庭・尚徳中学校2年生10名</p>
<p>地域交流活動実績1 <u>実施回数 3回</u> <u>実人数45人</u> <u>延人数45人</u></p>	<p>(事業所内又はこうほうえんが主催した交流事業) いしい交流広場 年2回(7月23人・3月18人) いしい家族会 年1回(2月4人)</p>
<p>地域交流活動実績2 <u>実施回数 2回</u> <u>実人数2人</u> <u>延人数2人</u></p>	<p>(地域の交流事業に利用者と共に参加したもの) 成実公民館祭(いしい1回/1人) 車尾公民館祭(くずも1回/1人)</p>
<p>ボランティア・環境活動等の実参加者数</p>	<p>(ボランティア・環境活動等に1回でも参加した職員数) 70人 / エリア職員数</p>
<p>ボランティア・環境活動参加実績1 <u>投入実人数124人</u></p>	<p>(清掃活動・消防団活動・地域防災活動等) ○中海アダプトプログラム:11名 ○なんぶ幸朋苑クリーン活動 春(54名)秋(41名) ○溝清掃:18名</p>
<p>ボランティア・環境活動参加実績2 <u>投入実人数48人</u></p>	<p>(見守り活動・学校活動の手伝い等) ○トライアスロン(9名) ○ながえ県営団地見守り活動(12回実施/実人数4人)</p>

地域発信活動実績 (介護、看護の日、イベント開催等)	○地域/学校新聞発行 4回/年 特養
地域発信活動実績 (認知症サポーター養成講座、地域包括支援センターのみの活動は除く)	—
地域発信活動実績 (講習会、講演会の主催及び参加等、地域包括支援センターのみの活動は除く)	—

8 その他報告事項

事故の発生状況 (レベル3以上の事故)	こうほうえん事故レベル定義		年間件数
	レベル3	事故の為、医療機関での継続的な治療が必要になった場合	21件
	レベル4	事故により、障がいが残った場合	なし
	レベル5	事故が死因となった場合	なし
虐待及び身体拘束の状況	(実人員、延日数、簡単な状況) (ない場合の例)高齢者虐待防止法に定める「虐待の疑い」があると判断し、市町村へ通報した事案はありませんでした		
感染症の集団発生状況(保健所報告分)	(報告日、収束日、感染者数) ・特養:コロナウイルス感染症 9/13 発症。9/19~10/9 まで米子保健所報告。10/12 収束。感染者 39 名(利用者 32 名 職員 7 名) ・さくら:インフルエンザ保健所報告(11/28~12/ 1/13~1/22) (子ども 60 名 職員 9 名)		
ご意見	設備に関する苦情	職員に関する苦情	感謝のご意見
	0件	34件	0件